
Charle Group Vision 2035

中期経営計画2024-2029

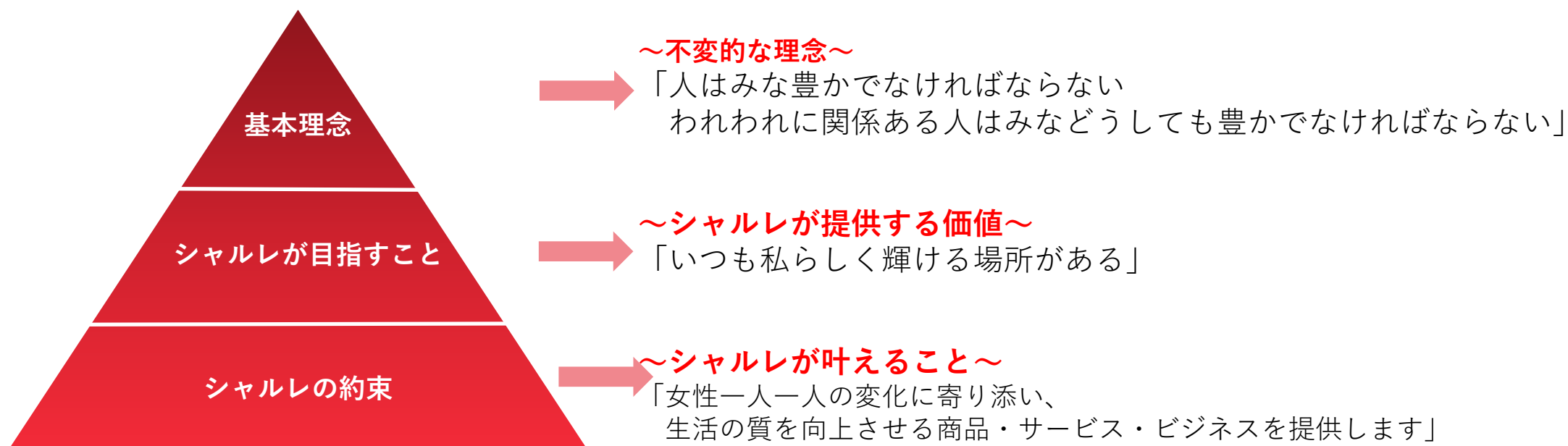
2024年10月29日

株式会社シャルレ

CHARLE



【 シャルレ事業 企業理念 】



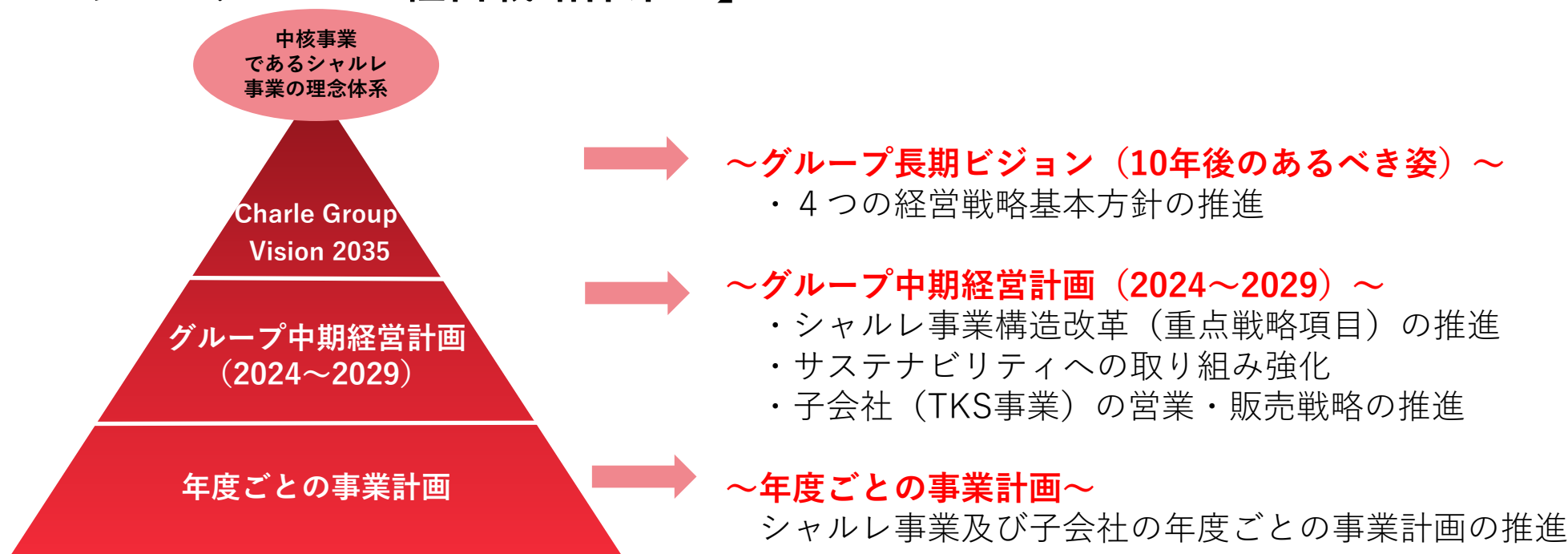
当社グループの中核事業であるシャルレ事業の企業理念の体系を定義付け

いつも、私らしく輝ける場所がある。



企業理念の体系と中期経営計画の位置づけ②

【 シャルレグループ 経営戦略体系 】



シャルレ事業の企業理念を軸とし、グループ全体のビジョン・事業計画を策定

いつも、私らしく輝ける場所がある。



長期ビジョン（10年後のあるべき姿）

『いつの時代も「新しい豊かさ」を追求する企業へ』

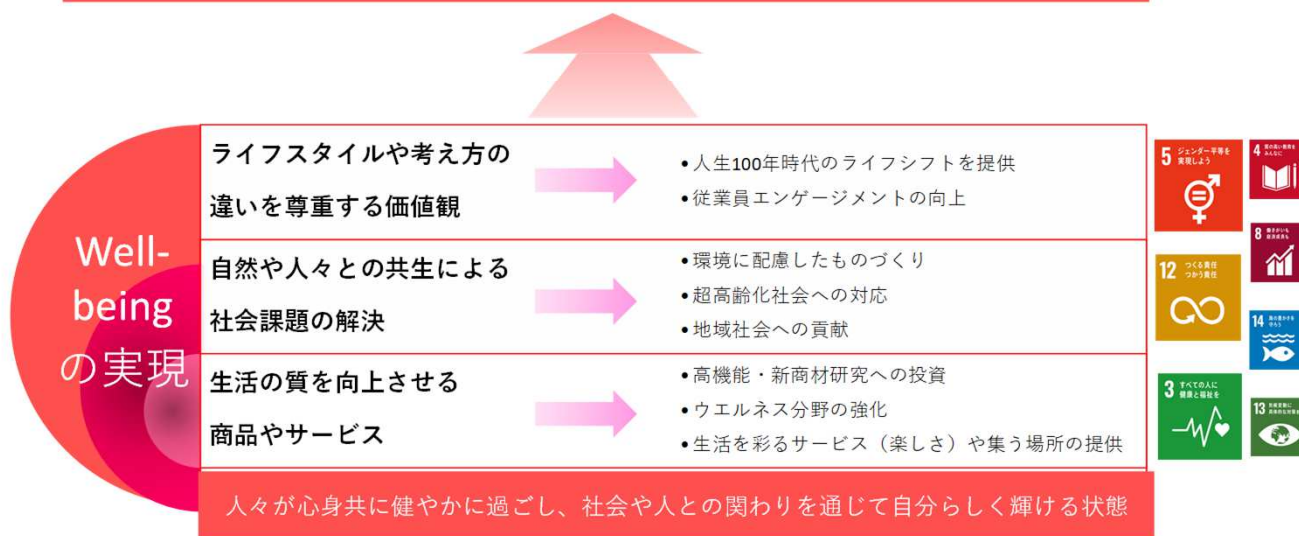
社会が変わり、人が変わった。人が変わり、豊かさの基準も変わった。

創業当時、今までにない商品・ビジネスを生み出すことで

人々の豊かさにご貢献してきたシャルレ。

これから時代や人が変わっても「新しい豊かさ」を提供するため、

シャルレグループは挑戦し続けます。



当社グループが目指す10年後のあるべき姿（長期ビジョン）を設定。人生100年時代に備えて、人々の豊かさも変化。シャルレは、人々が心身ともに健やかに自分らしく輝けるを提供する企業へ挑戦し続けていく。

4つのグループ経営戦略基本方針

Charle Group Vision 2035の実現に向け、中核事業のシャルレ事業を第二創業期と位置づけ、事業構造改革を完遂に導き、グループシナジーの最大化による収益拡大及び企業価値向上を図る

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | シャルレ事業の第二創業による業績回復・再成長 |
| 2 | 顧客データの利活用やグループシナジーによる拡大 |
| 3 | 資本コスト経営および人的資本経営の実現 |
| 4 | 新しい豊かさの実現による企業価値向上 |

長期ビジョン（10年後のあるべき姿）の実現に向けて、4つのグループ経営戦略の基本方針を策定

4つのグループ経営戦略基本方針

1. 第二創業による業績回復

創業50周年を機に、中核事業であるシャルレ事業の抜本的な構造改革をやり遂げ、訪問販売ならではの強みと通信販売の利便性を両立させた独自のBtoC型ビジネスモデルへ転換する。
これをシャルレの第二創業ととらえ、若年層顧客の呼び込み、既存の高齢顧客の維持を図ることで業績の回復を図る。

2. 顧客データ利活用やグループシナジーの創出による拡大

シャルレ事業の顧客資産をデータ利活用し、通信販売型の新たなサービスを導入することで、顧客のLTVを上げ、シャルレ商圏として拡大し、グループ事業全体のマーケティングに活用する。また、シャルレ事業の構造改革や機能強化・補完に必要な事業会社への投資を積極的に推進し、グループとしてのシナジーを創出する。

3. 資本コスト経営および人的資本経営の実現

キャピタルアロケーション方針に基づき、資本コストの最適化を図り、経営資源を有効活用することで、収益率を高め持続的な成長を図る。また、経営戦略の推進と連動し、DX推進やマーケティングの強化を図り、人的資本経営を実現する。

4. 新しい豊かさの実現による企業価値向上

事業活動を通じて、時代の変化に合わせた新しい豊かさ（ウェルビーイングの実現）を提唱し、企業価値を向上させる。

【シャルレ事業】

1. シャルレビジネス改革

- ・シャルレビジネス基盤構築（ハイブリッドセールス）：訪問販売と通信販売を融合した BtoC 型ビジネスモデルへの転換及び基盤構築
- ・マーケティング戦略：健康食品の販売強化、新商材の開発及び投入等
- ・リブランド戦略：企業コンセプトの再構築、商品・ビジネス P R の強化等

2. 人事戦略

- ・組織風土改革、働き方改革、人財開発等の推進による従業員エンゲージメント向上

3. ファシリティ戦略

- ・アクティビティ・ベースド・ワーキング（A B W）の推進、資産の有効活用等

4. 収益事業開発・展開

- ・シャルレ事業の強みを活かした新たな収益事業の開発・展開
- ・海外事業の取り組み

5. サステナビリティ推進

- ・「環境」「人的資本」「D X」「ガバナンス」のマテリアリティへの取り組み推進

【グループ事業】

6. 子会社（T K S 事業）

- ・営業体制の強化及び販売戦略の推進等

7. 新規事業開発

- ・グループ事業間での機能強化・補完・シナジー性の発揮できる新規事業の探索・開発

いつも、私らしく輝ける場所がある。

CHARLE 長期ビジョン・中期経営計画概略図

長期的な
外部環境の
変化

2035年のあるべき姿

企業理念

グループビジョン

中長期経営目標
(KPI)

2035年に向けた事業計画

中期経営計画

中期損益計画
キャピタルアロケーション方針

当社
グループ
事業課題

2035年に向けた事業戦略

中核事業（シャルレ）の3つの主要戦略

ブラン
ディング

マーケ
ティング

ハイブ
リッド

新規事業への投資

グループ
シナジー

環境

人的資本

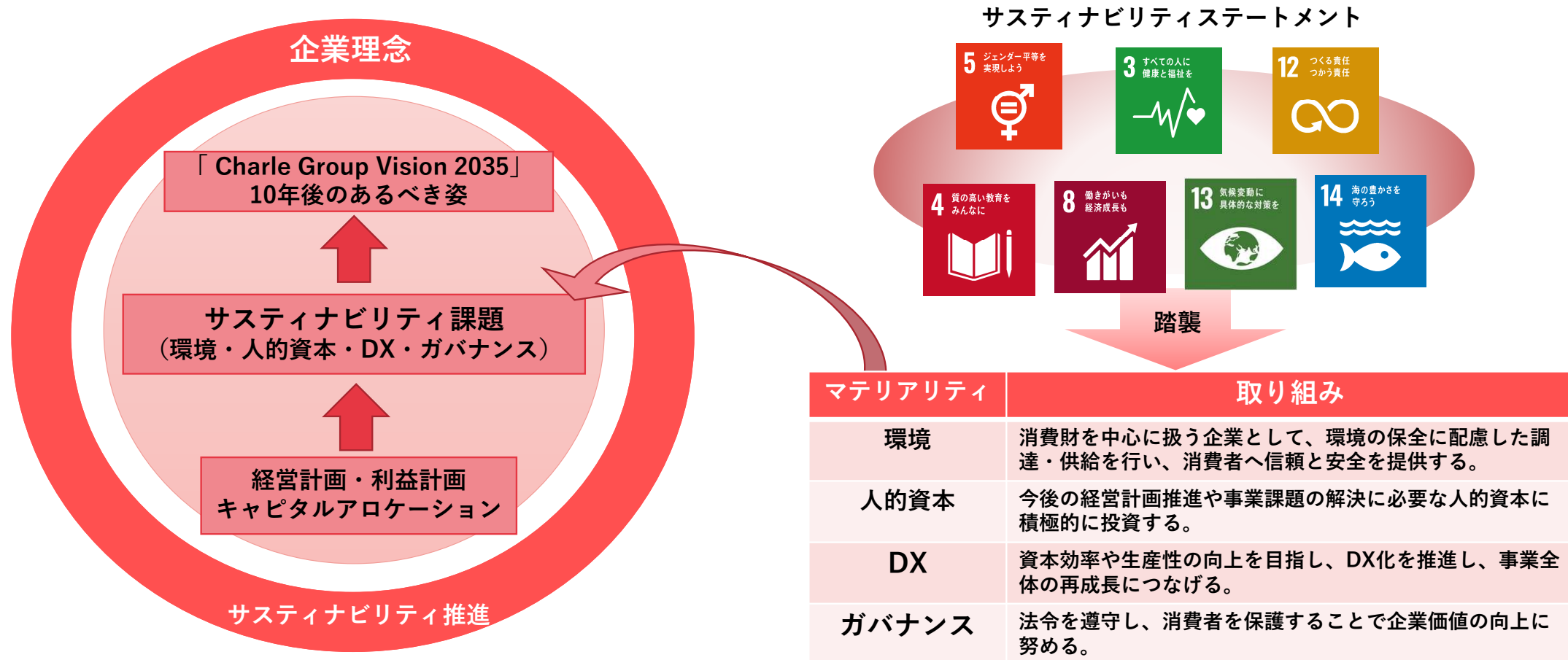
D X

ガバナ
ンス

サステナビリティ課題への取り組み

いつも、私らしく輝ける場所がある。

CHARLE シャルレグループのサステナビリティ取り組み全体像



長期ビジョンで示した「10年後のあるべき姿」の実現を目指して、中期経営計画を推進することで、グループのサステナビリティに対する課題解決（マテリアリティ）を図る

キャピタルアロケーション方針

フリーキャッシュフロー（中期予測）
110億円

①CB事業改革
（DX・人的資本）

②新規事業
（M&A・提携・出資）

③ファシリティ戦略
（働き方改革・
資産の有効活用）

④株主還元
（配当・自己株式取得）

グループ経営戦略基本方針にある「資本コスト経営の推進」に即して、上記方針に基づく投資を最優先に取り組み、資本バランスの最適化を図りつつ、資本効率の改善を実現し、ROEの向上を目指す

株主還元方針

■配当方針

各事業年度の業績に応じて配当性向70%程度、または1株当たり年間8円配当を下限と定め、そのいずれか多い方を基準として継続的な配当を行うことを基本方針といたします。但し、年間8円の配当の下限は、2025年3月期から2029年3月期までの5期間といたします。

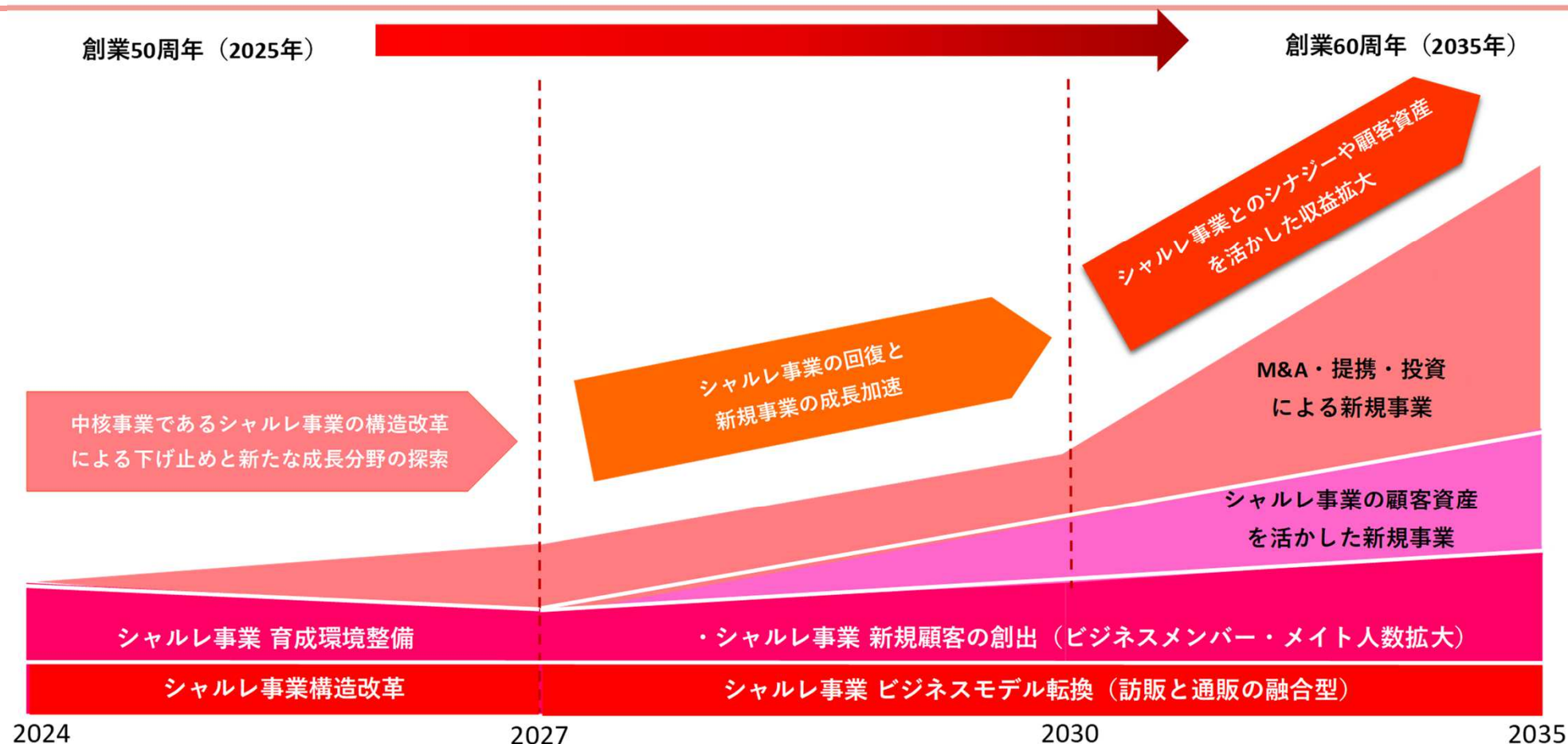
■自己株式取得

資本効率の向上、および株主還元の充実を図るため、今後、機動的な自己株式取得の実施を行ってまいります。

いつも、私らしく輝ける場所がある。



『Charle Group Vision 2035』の実現に向けたロードマップ



資本コスト経営と人的資本経営の推進により、経営効率を高め、持続的な成長を目指す
シャルレ事業構造改革や新規事業を支えるDX推進やリスクリングにより労働生産性を高め経営基盤を強化する

シャルレグループ中長期経営指標（KPI）

KPI目標	2035年3月期 (60期)
連結売上高	204億円
連結営業利益率	10%以上
ROE	5%以上

当社グループは、中長期経営指標に連結売上高、連結営業利益率、ROEを定め、「Charle Group Vision 2035」の最終年度である2035年3月期（60期）に上記目標値（KPI）の達成を目指す

END